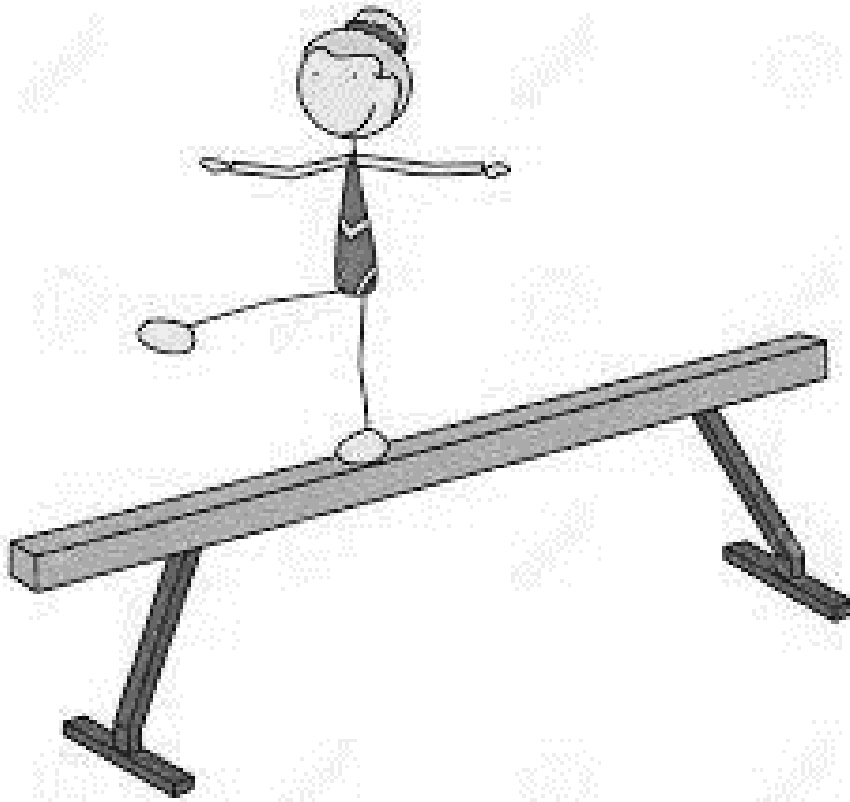


徳島県秋季ジュニア 中級 規定演技

採点規則



徳島県体操協会
令和3年6月制定
令和3年10月改正

徳島県秋季ジュニア 中級 規定演技 採点規則要項

一般規則	実施	9.50
	加点	0.50
	最大	10.00

※実施

★実施については、9.50を基礎点とし、そこから減点をする。採点にあたっては各種目の減点表を、またその項目にない個々の実施減点については、その過失の度合いに応じて減点とする。（落下等最大減点は0.5）実施減点・演技全体を通しての減点以外の一部欠点については、日本体操協会制定採点規則を適用する。

※加点

★各種目に定められた項目を満足な形で行った演技に対して最大0.5の加点を与える。

※技を全く実施しない場合などの減点〈段違い平行棒・平均台・ゆか〉

★技を全く実施しない場合

- ・一律各0.7の減点とする

★技を変更して実施した場合

- ・一律各0.5の減点とする

※失敗による技の繰り返しに対する減点

★規定された技を何度も繰り返す 各0.3

（段違い平行棒において、落下後演技を再開するために必要な技は除く）

※終末技なしに対する減点

規定された技を全く実施しない減点のみとし、終末技の減点はしない

※演技全体を通しての減点

各0.3まで

★運動が不正確

★足、脚、身体、胴体の姿勢がゆるむまたは不正確

★柔軟性に欠ける

★振幅が不十分（段違い平行棒）

★リズムとテンポの変化が不十分（平均台・ゆか）

★スピードや迫力に欠ける（段違い平行棒・平均台・ゆか）

★芸術性に欠ける（平均台・ゆか）

女子 中級 規定演技 跳馬

全日本ジュニアCクラス規定演技に準じ、徳島県体操協会制定による採点基準において採点を行うものとする。

- ※ 選手が跳躍板に触れなかった場合、助走は3回まで許される。
- ※ 追加の助走の減点(-1.00)は適用しない。4回目の助走は認められない。
- ※ 跳躍を行えなかった場合の得点は、0.00となる。
- ※ 同じ跳躍を2回行い、よいほうの得点を決定点とする。
- ※ 胴体着地並びに器械上に直接着地した場合、その跳躍の得点を3.00とする。
- ~~※ セーフティマットの使用を義務づける。~~

《評価について》

通常、演技の評価は第1空中局面からであるが、将来、高難度跳躍技へ結びつける為の正確な技術習得を目的とし、準備動作となる助走・ロンダート・踏み切りにおいても評価の対象とする。

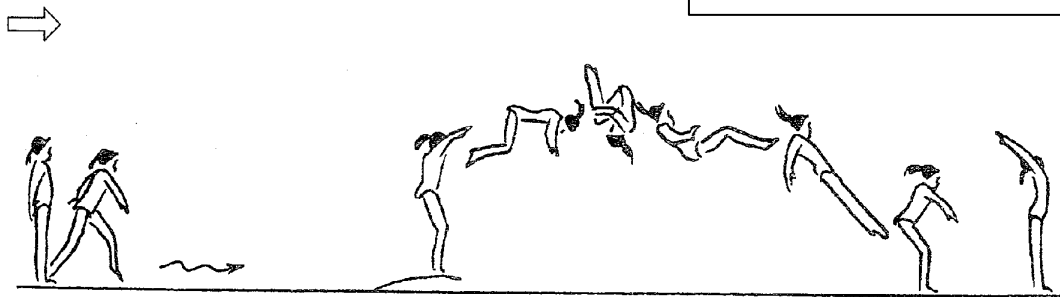
採点について

各跳躍は、下記の減点表により行う。

そのほかの減点については、2017年版採点規則に準ずる。

前方かかえ込み宙返り

☆高さのある跳躍を評価する



《減点表》

NO	部分	欠点	減点
1	助走	スピード感に欠ける	0.30
2	踏み切り	踏み切りが弱い	0.30
3	前方かかえ込み宙返り	ひき上げの姿勢がない	0.50まで
		かかえ込みの姿勢不良	0.30まで
		高さが不十分	0.50まで
4	着地	距離が不十分	0.50まで

※その他の減点、減点項目にない部分の減点は、2017年版採点規則に準ずる。

その過失の度合いに応じて、0.10、0.30、0.50の減点をする。(尻もち等、最大減点は0.50)

<減点項目の追加> 着地後、器具に触れた場合の減点を-3.00とする。

女子 中級 規定演技 段違い平行棒

全日本ジュニアCクラス規定演技に準じ、徳島県体操協会制定による採点基準において採点を行うものとする。

- 《第1部分》 閉脚けあがり
- 《第2部分》 後ろ振り上げ倒立（閉脚）
- 《第3部分》 閉脚けあがり
- 《第4部分》 後ろ振り上げ（閉脚）
- 《第5部分》 後方足裏支持回転（開脚）
- 《第6部分》 閉脚けあがり
- 《第7部分》 後ろ振り上げ（閉脚）
- 《第8部分》 後方浮支持回転

代表的欠点

No.	部分	欠点	減点
1・3・6	閉脚けあがり	開脚になる	各0.1
2	後ろ振り上げ倒立	10° ~ 45°	0.1
		45° 以下	0.3
4・7	後ろ振り上げ	45° ~ 水平	0.1
		後ろ振り上げの大きさ不十分	0.3
5	後方足裏支持回転（開脚）	閉脚になる	0.3
		膝の曲がり 45° 以下	0.1
		45° 以上	0.3
8	後方浮支持回転	45° ~ 90°	0.1
		90° 以上（水平以下）	0.3

※その他の減点、減点項目にない部分の減点は、2017年版採点規則に準ずる。

※アップは1人30秒

加点：最大0.5

- ①肘を伸ばした振り上げ倒立 0.1
- ②肘を伸ばした後方浮支持回転 0.1
- ③け上がりの前振りが大きい 0.1
- ④正確な倒立姿勢 0.1
- ⑤着地が止まる 0.1

女子 中級 規定演技 平均台

全日本ジュニアCクラス規定演技に準じ、徳島県体操協会制定による採点基準において採点を行うものとする。

- 《第1部分》 開始技
- 《第2部分》 側方倒立回転
- 《第3部分》 後方倒立回転
- 《第4部分》 後方へ脚を振り上げ、頭部を後屈
- 《第5部分》 前後開脚とび ～ シソソ又
- 《第6部分》 片足立ち1回ターン ～ 逆の片足立ち1/2ターン
- 《第7部分》 浮き脚を保持したバランス
- 《第8部分》 正面水平立ち ～ 前方倒立回転
- 《第9部分》 波動
- 《第10部分》 側方倒立回転おり

☆ タイム 75秒以内

☆ 動きはビデオ通り

代表的欠点

No.	部分	欠点	減点
1	開始技	瞬時浮き支持がない	0.1
	後ろ波動	胸の開きがない	0.1
4	後ろ振り上げ頭部後屈	後ろ脚が肩より低い 後ろ脚の曲げが不十分 反りが不十分（頭部の後屈）	0.1 0.1 0.1
5	前後開脚跳び ～ シソソ又	リズムとテンポの欠如	0.3まで
6	1回ターン～1/2ターン	リズムの欠如 余分なステップ パッセの姿勢不良	0.1 各0.1 0.1
7	浮き脚を保持したバランス	2秒静止がない 180度開脚がない	0.3 0.3まで
8	正面水平立ち	2秒静止がない 180度開脚がない	0.3 0.3まで
9	波動	波動が不十分	0.3まで
10	側方倒立回転おり	浮きがない	0.3まで
	演技全体を通して	リズムとテンポの欠如 芸術性に乏しい演技 不正確なつまさき立ち	0.3まで 0.3まで 各0.1

※その他の減点、減点項目にない部分の減点は、2017年版採点規則に準ずる。

☆ タイムは5秒以内超過で0.1減点（6秒以上で1.0減点）

加点：最大0.5

- ①前後開脚を伴う技の開脚が180° 以上の実施 0.1
- ②正確で高さのある終末技 0.1
- ③演技全体を通して印象の良い演技 0.1
- ④トウ立ちが高い 0.1
- ⑤着地が止まる（下り） 0.1

女子 中級 規定演技 ゆか

全日本ジュニアCクラス規定演技に準じ、徳島県体操協会制定による採点基準において採点を行うものとする。

- 《第1部分》 ロンダート ～ 後転とび ～ 後転とび ～ 伸身とび
- 《第2部分》 片足を手で保持したバランス
- 《第3部分》 片足踏切のジャンプ
- 《第4部分》 伸身とび1回ひねり
- 《第5部分》 後転倒立
- 《第6部分》 開脚座
- 《第7部分》 座からの後方倒立回転
- 《第8部分》 ピルエット
- 《第9部分》 180° ターン～助走
- 《第10部分》 前後開脚とび ～ カデット
- 《第11部分》 ピケターン ～ ピケターン ～
- 《第12部分》 シェネターン
- 《第13部分》 波動
- 《第14部分》 前方抱え込み宙返り ～ 前転とび（両足着地）

☆ 動き・方向はビデオ通り

代表的欠点

No.	部分	欠点	減点
2	片足を手で保持したバランス	瞬時静止がみられないまたは保持がない	0.1
3	片足踏切のジャンプ	空間で足がそろわない 両足での着地になる	0.1 0.3
4	伸身とび1回ひねり	腕の位置が不正確	0.1
5	後転倒立	倒立姿勢が不正確	0.3まで
6	開脚座	180° 開脚が不正確 回転時、手をつく	各0.1 0.1
7	座からの後方倒立回転	180° 開脚がない	0.3まで
8	ピルエット	不正確なつまさき立ち 不正確な姿勢（腕または足）	0.1 0.1
9	180° ターン～助走	留まりがある	0.1
11	ピケターン	不正確なパッセポジション 不正確なつまさき立ち	各0.1 各0.1
12	シェネターン	不正確な姿勢（腕または足） 不正確なつまさき立ち	0.1 0.1
13	波動	波動が不十分	0.1
	演技全体を通して	不正確なバレエポジション 芸術性に乏しい演技	0.3まで 0.3まで

※その他の減点、減点項目にない部分の減点は、2017年版採点規則に準ずる。

加算：最大0.5

- ① アクロバット系シリーズの高さ・スピード・リズムの良さに対して 0.1
- ② 前後開脚を伴う技の開脚が180° 以上の実施 0.1
- ③ 演技全体を通して印象の良い演技 0.1
- ④ 演技全体でトゥ立ちが高い 0.1
- ⑤ タンプリングの着地が止まる 0.1